

## 第5回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所  
2021年度 第5回 理事会議事録

日時:2021年 5月10日(月) 19:00～

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・高橋建太・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵大・池慎三・沼田剛志・島田昌広・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・中島裕一朗・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(欠席者) 加度亮平・今岡正英

(遅刻) 岡本大輔

(早退) なし

### 次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘: (安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和: (吉田嵩正)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和: (内海洋平)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和: (島田昌広)
6. 出席者の確認: (加藤雄大)
7. 配付資料の確認: (歌一行)
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名: (安楽城大作)
9. 議題の確認: (歌一行)
10. 理事長挨拶: (安楽城大作)

先週からコロナウイルスの感染状況が悪化しており、尾道でも過去最悪の感染者数を記録している状況の中、お集まりいただきありがとうございます。

事業をどう進めていくべきか頭を悩ませている方もおられるとは思いますが、基本的には年初に出したマニュアルに沿って運営を行っていこうと思います。

事業の中止の可能性が高い状況としては「尾道市内でクラスターが発生する」「会員の中で感染者が出る」の2点が上げられるかと思っています。

そういう状況が生じた場合は、正副で協議の上決定いたしますので、よろしく願いいたします。

まずは、5月8日の土曜日にブロックゴルフ大会が開催されました。

尾道から多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございます。

ブロックの運営側も開催するか否か、開催するのであればどういう方法であるのか、非常に悩んでいました。

## 第5回理事会 議事録

状況が悪化したのが1週間ほど前で、それまでにブロックの運営団と府中青年会議所が色々と準備を進めてくれました。

日がない中、キャンセルというのは難しい状況があり、最大限安全に配慮し、ああいっただ形での開催になりましたが、多くの人達にご参加頂き感謝しております。

他 LOM の状況を聞いていて、広島の中で尾道青年会議所が1番だと改めて感じました。こういう気構えを今後も継続して欲しいと思います。

報告になりますが、尾道が優勝しました。

「出場する物は全て優勝する」というのが私の目標なので、次の野球大会も優勝目指して頑張りましょう。

前置きが長くなり恐縮ですが、今日は理事会前に一つお話ししたいことがあります。

今回の例会で、6月の例会の協議までが上がってきますので、各委員会が事業の上程を1つから2つ行ったということになります。

これまでは私から「リーダーとしてどういう風にやっていくべきか」ということをお話しさせていただいてきました。

副理事長の皆さんにも、委員会の思いを確認し、それを形にして欲しいと言っていました。

なぜこういう風にやってきたかという、委員長というのはJC生活の中で「1番時間を使う1年間」です。

私が理事長という立場で皆さんをお預かりさせていただいている中、せっかく時間を使うのであれば「成長して欲しい」という気持ちがあり、厳しいことや、JAYCEEらしいことを言ってきました。

具体的には「方針を明確にすること」「その方針を共有できる仲間を作り、仲間に合わせたやり方で行うこと」を言わせていただきました。

委員長の皆さんは、これまではそういったことを気に掛けて、しっかりと考えて上程を上げてきていただいたと思っています。

7月以降からは、各委員会に例会と事業が残されておりますが、それらを考えるときに新たに「記憶に残る事業にする」ということを考えて見て欲しいと思います。

私が委員長をやった際に夏期講習を担当し、大山で登山を行いました。

数年後に、「あの夏期講習が一番記憶に残っている」と言っていたことがありません。

とても嬉しい記憶であり、私のJC生活の原動力になっているように感じています。

夏期講習の中で何か特別な事をやったわけではなく、登山に行っただけではありますが、

「これまでの夏期講習よりも多くの人に参加していただきたい」という思いを持ち、各委員会にお願いにまわったことを覚えています。

## 第5回理事会 議事録

大山という、少し離れた場所での夏期講習でも多くの人に参加してもらえるように動き、実現できたことが「記憶に残った」と言ってもらえたことに繋がったのではないかと思います。

所謂「JCらしい」事業ではなかったかもしれませんが、私は事業に関してはどんなことをやっても良いと思っています。

終わった後に結果が出るようなものでもなく、成果が数年後に現れるような事業も多くあると思います。

皆さんが現時点でどのような1年にするか考えられているかということ、形にする上で「記憶に残る」ということをキーワードとして考えていただきたいです。

対内事業であれば、参加してくれたメンバーの。

対外事業であれば、来てくれた方々の、記憶に残るような物にするということが、自分自身の成果に繋がってくると思います。

ここまでの前半戦は「JCらしくやって欲しい」ということをきちんと実践していただきました。

後半はより、どうやれば楽しくなるのか、前向きに明るくなるのか、ということを考えて欲しいと思います。

5月、6月はあまり事業がありませんので、是非時間を利用していただき、その辺りについて考えてみて下さい。

コロナ禍で難しい状況が続くかとは思いますが、最後には、明るく前向きになれるように終わりたいと思いますので、頑張りましょう。

以上です。本日もよろしく願いいたします。

### 11. 直前理事長挨拶：（加度良平）

欠席のため割愛

### 12. 理事長報告：（安楽城大作）

資料にて確認。

### 13. 委員会報告：

【社会開発室】（島田元太）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載のとおりです。

本日は審議事項が1件ありますので、よろしく願いいたします。

「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載のとおりです。

## 第5回理事会 議事録

合同委員会の際にお願いしたアンケートですが、近々用意できますので、ご協力よろしく  
お願いいたします。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載のとおりです。

家族会にご協力頂き無事終わることができました。ありがとうございました。

本日、審議上程が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

委員会報告は記載のとおりです。

夏期講習について話し合っております。

【JC 運動推進室】（歌一行）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

委員会報告は記載のとおりです。

現在仮入会院は7名です。

本日は審議事項が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告は記載のとおりです。

本日は協議事項が1件ありますのでよろしくお願いいたします。

14. 審議事項：（安楽城大作）

第1号議案 3月例会 事業報告（案）決算（案）に関する件

（島田昌広）

資料読み上げ（1-1、1-2）

資料参照（1-3）

続いて、事業収支計算書について差異のあった部分のみご説明いたします。

「資料作成費支出」ですが、予算段階は66名で計算しておりましたが、事業実施時点で  
65名に減ったため、6円の差異が生じております。

資料参照（1-5、1-6、1-7）

最後にアンケート結果をご覧ください。

## 第5回理事会 議事録

質問3 に対しての回答として

「子どもに対して、なぜそれをしたいと思ったか、なぜそう思ったのか、感じたのかを聞くようにしている」

「自由研究のような宿題で1番好きなことを調べるように言っている」

「子どもの遊び方：よく山に探検に行く」

といったような回答を頂きました。

事業を構築する際に、こちらでやることを固定してしまい、参加者が受け身になってしまふことがあります。

選択肢を与えたり、自分の考えを伝える場を設けることが主体性を見いだすために大切だと感じました。

質問4 に対しての回答として

「一人で出来ないことを出来るし、楽しい。成果が出せて楽しいことは継続することにも繋がるとも思う」

「自分の人生に責任を持つ人が増えるのではないかと思いますので、違う意見を受け入れたり、変化することを恐れないような、好影響があるのではないかと思います」

「自分で考え、発信することができる。まるめこむのではなく、うまく理解してもらえるようにプレゼンできるようになる」

「問題解決能力が高まる。自分の長所を活かせるようになる」

といったような回答を頂きました。

一人では楽しめないことを楽しむこと、楽しいことを継続すること、そういう考え方は大切であると感じました。

今後の事業においても、その日だけで終わるのではなく、継続性のあるものにしていきたいと思いました。

また、自分の意見を発信し、異なる意見を受け入れることも主体性を養う上で大切なことです。

小さくまとまるのではなく、参加者に楽しんで貰え、自分の個性を活かせるようなものを模索していきたいと思います。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

(内海洋平)

意見になりますが、アンケートの質問1の「講演を聴いて、「主体性」は大切だと思いましたが？」という質問の回答の中に「思わない」「どちらとも言えない」と答えた人もいました。

そう答えた理由を掛ける欄があれば良いのではないかと思います。

## 第5回理事会 議事録

(安楽城大作)

同じ意見が正副理事会でも出ました。

今後アンケートを実施される際は、そういう形を取る方が良いと思います。

(高山敦好)

自社のスタッフに主体性にも伝えたいのですが、方法はないでしょうか。

(島田昌広)

伝えることも大切ですが、実践していくのが重要であると考えます。

人それぞれ、「主体性」に対しての感じ方や考え方は異なりますので、「選択肢を与える」「考え方を提示して貰う」などの機会を増やして、実践の中でそれぞれの主体性を磨いて貰えればと思います。

\*全会一致で承認。

第2号議案 4月例会 事業報告(案) 予算(案)に関する件

(吉田嵩正)

資料読み上げ(2-1、2-2)

資料参照(2-3)

続いて、事業収支計算書について差異のあった部分のみご説明いたします。

「資料作成費支出」ですが、予算段階では66名で計算しておりましたが、事業実施時点で65名に減ったため、3円の差異が生じております。

資料参照(2-5、2-6、2-7、2-8)

続いて、アンケートの結果についてご説明いたします。

質問1、2、3については「どちらともいえない」という回答が一定数ありました。

体験談がメインになりましたので、資料などが用意できればよかったと思います。

質問4に関しては、多くの感想を記入していただきました。

メンバーのモチベーションをどうやって上げるかということ

コミュニケーションを大切にして、信頼関係を作るとということ

4人の中心メンバーを作り、4人から波及していくこと

などに関する意見が多く見られました。

## 第5回理事会 議事録

質問5に関してですが、ポジティブな感想を多くいただいた一方、「具体的すぎるエピソードが多かった」「対談で方向性を修正する柔軟性が欲しかった」などネガティブな感想もいただきました。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

(島田昌広)

講演内容が具体的な話が多かったように感じました。

高校野球の話であれば、野球に詳しくない人もなんとなくわかる部分もあるかと思いますが、達川さんのお話しなどは野球に詳しくないとなかなか理解できないこともあったように思います。

事前の内容の打ち合わせはどのようにされていたのでしょうか。

(吉田嵩正)

打ち合わせ段階では、これだけの時間で、「前向きになれるような話」「組織作りの理論と思考についての話」などの内容でお話をして欲しいという資料を作成し打ち合わせを行っていました。

野球に詳しくない方には、先生のお話をJCや仕事のことに置き換えるのが難しい部分があったのかと感じております。

(島田昌広)

自分の例会の反省でもありますが、実際に行っていただく講演をおおまかでもいいので、事前に聞かせていただければ、修正して欲しい点を打ち合わせできたのではないかと思います。

(吉田嵩正)

今後講演の打ち合わせの機会があれば、より綿密な打ち合わせを行いたいと思います。

(安楽城大作)

3月例会も4月例会もパワーポイント無しの講演でした。

合同委員会でもお話ししましたが、「聞き手依存になりすぎていた」という報告がありましたが、聞き手は責任があるので依存はしてもいいと思います。

講演内容をフォローするような資料をしっかりと作成すれば問題は解決すると思います。「こういう風に話してくれ」というのではなく、「こういう話をするだろうから、理解して貰う為にこういう資料を作成しよう」というやり方が一番大事ではないかと思いました。

\*全会一致で承認。

(歌一行)

これより5月例会の審議事項に入りますが、その前に報告がございます。

5月例会はブロックの公式訪問があるとお伝えし、その前提で準備をしていただいておりますが、昨今の状況を鑑み、尾道JCの事務局よりブロックの公式訪問の延期を要請いたしました。

上程の内容も、参加人数や予算やタイムスケジュールが公式訪問に合わせた内容で作成していただいております。

本日はこのまま上程をしていただき、報告という形で後に修正いただこうと思っておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

第3号議案 5月例会 事業計画(案) 予算(案)に関する件  
(内海洋平)

資料読み上げ(3-1、3-2、3-3)

続いて、変更箇所が合った部分をご説明いたします。

資料参照(3-6)

事業概要案をご確認下さい。

こちらに「講演内容」と「JCメンバーに感じとっていただきたいこと」を対比する形の表を追加しております。

資料参照(3-8)

続いて、タイムスケジュールをご覧下さい。

講演(75分)とありますが、「\*委員会メンバーの発表(5分)含む」を追加しております。

資料参照(3-19、3-20、3-21、3-22)

これらの資料を使用し、私たちがより伝えたいこと、聞いていただきたいことを説明させていただいた後、講演に移りたいと考えています。

日々の感情の共有はもちろん、何か困難なことを乗り越える際や、何か活動する際に活気を生み出すためにも「人との繋がり」は非常に大切です。

現在、人との繋がり希薄化が問題視されており、今できることを考え行動していくことが必要であると考え、この講演を聞いていただきたいと思っております。



## 第5回理事会 議事録

資料読み上げ（3-19、3-20、3-21、3-22）

以上、慎重なる審議をお願いします。

（中島裕一郎）

「3-19～22」の資料はスケジュールには載ってないのでしょうか。

（内海洋平）

講演の直前に、委員会メンバーから説明いたします。

（中島裕一郎）

講師の先生がところどころ質問を挟むと聞いておりますが、これらの資料（3-19～22）と、質問内容は関連性があるのでしょうか。

それとも、先生が聞きたいことをその時々で聞かれるのでしょうか。

（内海洋平）

先生には事業概要案とこれらの資料をお渡しして打ち合わせも行っておりますので、これらの内容に沿った質問を想定しております。

（中島裕一郎）

そうであればアンケートがシンプルすぎるように思います。

実質2問しかない内容であり、答える側にゆだねる部分が大きいように見えます。

今日のお話を伺うと、もっと聞きたいことがあるように感じました。

（内海洋平）

アンケートについてですが、質問1と2についてがもっとも聞きたいことであるので、シンプルな仕様にしております。

（中島裕一郎）

意見になりますが、質問1に関しては多くの方が「はい」という答えになるのではないかと思います。

「はい」と答えた理由を記述して貰うのは良いかもしれませんが、内海委員長が今後の例会や事業にアンケート結果を活かそうという意思があるのであれば、もう少し何か引き出せることがあるのではないかと思います。

（内海洋平）

参考にさせていただきます。

(安楽城大作)

アンケートは参考資料になっておりますので、意見を参考にして考えて頂ければと思います。

(小西琢真)

次世代のために楽しみのある未来というのが内海委員長のやりたいことなのではないかと思いました。

「Youtuber 体験でも子ども達に楽しみを」というテーマでやられていたと思います。議会上でも色々と子ども達に発言してもらい意見を貰ったと思いますが、それを踏まえてこの例会に反映させたいことがあればお教え下さい。

(内海洋平)

今回は Youtuber 体験とは別の切り口で考えているので、反映させたいことは特にありません。

どちらも、後の事業に繋げていこうと考えております。

(山本恭平)

今回、人との繋がりについて学ぶ例会と言うことですが、「組織の内部の繋がり」についてでしょうか。それとも「組織と地域との繋がり」なのでしょうか。

(内海洋平)

まちの人や地域といった外部との繋がりというところをより意識しております。

(高山敦好)

例会を終えて変革が起きたときに、どのような未来になって欲しいのか、イメージを聞かせて下さい。

(内海洋平)

これまでにはなかった繋がりが、たとえ小さくとも増えて行って欲しいです。また、mamanohibi は課題を解決するための団体ですが、何かを楽しむための繋がりや団体も生まれて欲しいと思います。

(高山敦好)

そういった繋がりには、まちにどんなメリットをもたらすとお考えですか。

(内海洋平)

地域に繋がりができれば「見守る」という機能が生まれると思います。

孤独死や災害時など役に立つのではと思います。

また、何か新しいことに取り組む際には、そういう繋がりがまちの中でいくつも生まれれば、経済的な部分や活気、新しい物を生み出すということにも繋がるのではないかと思います。

\*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 6月例会 事業計画(案) 予算(案)について

(小西琢真)

資料読み上げ(4-1, 4-2)

資料参照(4-3)

収支予算(案)に関してはご一読下さい。

資料参照(4-5)

行事概要(案)読み上げ。

資料参照(4-6, 4-7)

講演スケジュール読み上げ。

慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(森川陵)

総務広報委員会として、なぜこの例会を行おうと思われたのですか。

睡眠に着目された理由を教えてください。

(小西琢真)

総務広報委員会としては、コロナ禍で健康が再注目されていること、日本JCも大塚製薬と組んで健康経営を推進していることが理由としてあります。

今後皆様の耳に入ってくるであろう「睡眠」「健康経営」について正しい知識を知って貰うということは広報活動の一環であると考えています。

また、私自身大学時代に睡眠時間が不足し、体調を崩したことがあり、睡眠の大切さを実感しており、このような例会にさせていただきました。

(沼田剛志)

睡眠が大切ということは誰もがわかっていることだと思います。  
その中で、「こういうスペシャルなことを持って帰って欲しい」というものがあれば教えて下さい。

(小西琢真)

睡眠については、最近どんどん研究が進んでおり、新しい知見が多々あります。  
例えば4-29に「睡眠の質と量の関係」というパワーポイント資料がありますが、これは「睡眠の深さ」と「寝床で過ごす時間」を表しています。  
沢山眠れば良いというのではなく、例えば寝酒というのも代表的な例です。  
寝酒をされている方は沢山いるかと思いますが、お酒を飲んで沢山寝たとしても睡眠の質はあまり良いものではなく、寝不足と同じような状態になってしまうことがあります。  
研究されている方のお話をデータと共に聞けるといのが大きな事だと思っています。  
また、睡眠は誰もがすることですが、無意識にやっている方も多いと思います。  
それを理論立てて説明いただくことで、睡眠を正しく知って頂く良い機会だと思いますので、是非聞いて頂きたいと思います。

(島田昌広)

睡眠時間が極端に短くても成果をあげられている方も世の中にはいます。  
会員の中にそういう方がいるかは不明ですが、個人個人に必要な睡眠時間は違うと思います。  
それぞれに必要な睡眠時間なども知ることができるのでしょうか。

(小西琢真)

極端に睡眠時間が短くても平気な人々は「ショートスリーパー」と呼ばれています。  
そういう方は全体の数パーセントしかいないと言われています。  
中には、自身がショートスリーパーだと勘違いされている場合もあり、睡眠時間が短くベストなパフォーマンスができていないにもかかわらず、ベストだと思い込んでいることもありますので、そういうケースについては講演を聴いていただきたいと思います。  
また、「睡眠不足チェック」もありますので、そこで自分の睡眠は十分なのかどうか確認していただければと思います。

(内海洋平)

会社に持ち帰る際に、何かWEBサイトなどはあるでしょうか。

(小西琢真)

パワーポイントはお持ち帰りできますので、気に入った箇所があれば社員の方に共有して頂ければと思います。

社員の方のより深い睡眠への知識に繋がると思います。

また、先生が「働く世代にアンケートを採りたい」とおっしゃられているので、同じアンケートを社員に実施したいという場合は、私から先生にお願いできます。

実施されれば、個人個人の解答結果についてや、アドバイスを頂けると言っていたいています。

(山本恭平)

アンケートについてですが、設問2～6に「わからない」という選択肢がありますが、この回答は「全く実感しない」と同じではないかと思いました。

集計する上でも、選択肢を減らした方が良いのではないかと思います。

(小西琢真)

ありがとうございます。委員会で検討し、変更、修正いたします。

(山本恭平)

アンケートの設問3の「実感しない」と「全く実感しない」も同じであると思うので、まとめられたほうが良いかと思いました。

(小西琢真)

委員会で検討いたします。

(吉田嵩正)

仮入会員の方々をお呼びしても大丈夫でしょうか。また、テストも受けられるでしょうか。

(小西琢真)

どちらも可能です。席についてですが、拡大研修委員会と同じ席を考えています。

参加される場合は事前に人数をお知らせ下さい。

(吉田嵩正)

ありがとうございます。

積極的な参加を促したいと思います。

(高山敦好)

森川副委員長の質問で答えられていましたが、本例会の内容が「総務広報委員会の一環」というのは少し違和感を感じました。

「会員がより質の良い睡眠を取ることで、事業がブラッシュアップされ、総務広報の力があがる」というような道筋の方が、よりイメージも沸いてきますがいかがでしょうか。

(小西琢真)

広報の仕事として、

まずは、内から外へ、JCのことを対外に発信するということがあります。

そして、外から内へ、外にある情報をメンバーに伝えるということも広報の仕事であると考えています。

健康経営にしても、睡眠に関しても、色々ところで聞く機会はあるかとはありますが、大学の先生にお話を伺い、正しい知識をお伝えするのも広報の重要な仕事の一つだと思います。

私の所信が「恩返し」なので、私にできる恩返しは、皆さんの健康増進なのではないかという思いもあります。

事業と私の思いをすりあわせ、睡眠というテーマとなりました。

(高山敦好)

「正しい情報を会員に伝える」という切り口で、今回の例会をされるということで理解しました。

理事長の「こういうことをやって欲しい」という思いもあると思いますので、その辺りは打ち合わせをしながらやっていただければとおもいます。

(小西琢真)

理事長のやりたいことは「楽しくやる」ということだと理解しておりますのでその辺りはオープニングムービーで発揮していきたいと思います。

(安楽城大作)

楽しく、メリハリをつけてお願いいたします。

(山本恭平)

4-35～、先生のアンケートがありますが結構なボリュームがあり15分の記入時間で足りるのかどうか不明です。

## 第5回理事会 議事録

内容を拝見すると、事前もしくは事後でも回答可能だと思いますので、アンケート時間の15分を講演時間に当てられた方が良いのではないかと思います。いかがでしょうか。

(小西琢真)

この調査結果から、後日、先生からの睡眠改善メニューが送られてきます。  
なので、例会の一環であると考えており、時間内でやりたいと思っています。  
また、別の観点からですが、ゲストとして来ていただく先生への礼儀として、その場でタイムリーにお渡ししたいと考えています。  
総務広報委員会として、JC ライフを毎月お配りしていますが、中には忘れて帰られる方もおられます。  
あまり気持ちの良い物ではありませんので、先生のアンケートも、後日回収して、数が足りないという事態を防ぐためにも、時間内で行いたいと思います。  
委員長の皆様には、アンケートを書いて頂くようメンバーに周知して頂くと共に回収もよろしくお願いいたします。  
尾道 JC で講演して良かったと先生に思っていただけのような設えにしたいと思っています。

(大池慎三)

収支予算書を拝見しましたが、現在は会員65名で計算されておりますが、仮入会の方々が来られた場合予算オーバーになるのではないのでしょうか。

(小西琢真)

検討いたします。

(安楽城大作)

なるべく予算内でできるようにご検討下さい。  
また、JC ライフについては作成側の気持ちも考え、皆さんちゃんと持ち帰りましょう。  
その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：(歌一行)

特に無し

17. 連絡事項：(加藤雄大)

次回上程締め切りは5月19日(水)の17:00までとさせていただきます。

18. 監事講評：

## 第5回理事会 議事録

(高橋建太)

皆様、お疲れ様でした。

本日の理事会は協議、審議共に例会のみの4議案となり少し寂しく感じましたが、どの議案も多くの意見が出て活発な良い理事会だと感じました。

今後、多くの事業が展開されると思いますが冒頭、安楽城理事長のお話しでもあったように記憶に残る事業を委員会メンバーと一緒に構築していただければと思います。

現状、コロナ禍において満足な委員会運営も出来ない状況かと思いますが、初心を忘れることなく残りの期間を突っ走っていただければと思います。以上、監事講評とさせていただきます。

19.次回開催日の確認：(歌一行)

6月7日(月) 19:00より 国際ホテルにて

20.閉会：(歌一行)

21.点鐘：(安楽城大作)